



## 新型コロナウイルス感染症対応について<第10信>

日本聖公会北関東教区  
信徒・教役者の皆様

2022年4月27日

日本聖公会 北関東教区管理主教  
主教フランシスコ・ザビエル高橋宏幸

主の恵みが豊かにありますように

北関東教区では、2022年2月4日付けで「新型コロナウイルス感染症対応について」<第9信>を公布し、各教会において感染拡大の状況を注視しながら協議し、必要な策を講じるようお願いしてまいりました。

社会における感染状況は未だ安心・安全とは言えませんが、感染対策を講じながらのさまざまな活動が続けられるようになってきています。教会においても引き続き感染拡大防止への高い意識は保ちつつ、聖書勉強会、婦人会等諸集会が行われるようにと考えております。

今後の教区・教会での対応について、<第10信>として下記の通りお知らせいたします。

- ① 北関東教区内各教会・礼拝堂は、礼拝(公禱)について、教会委員会等で地域社会や教会共同体の状況を考慮して適切な対応を協議してください。礼拝休止などの必要が生じた場合は、教役者を通して主教補佐までご連絡ください。
- ② 関係者から感染陽性者が生じた場合、保健所指導のもと必要な対応を講じてください。また教区内の状況を把握する必要があるため、教役者より教区災害担当の斎藤徹司祭にご報告ください。
- ③ 礼拝(公禱)においては、細心の注意を払い、手指消毒の励行、適切な換気、陪餐や聖歌奉唱方法の工夫など、引き続き感染防止策を講じるようにしてください。
- ④ 教会における諸集会は、これまで原則行わないこととしてまいりましたが、今後は必要がある場合には、十分な感染防止策を講じた上で実施してください。なお集会における飲食はできる限り控えるようにしてください。
- ⑤ 葬送に関する祈りについては、十分な感染防止策を講じた上で、献げるようにしてください。

感染拡大が懸念される状況は続いておりますが、わたしたちの交わり、また世界と社会の回復をおぼえ、主の導きがありますように祈りましょう。また各教会、併設施設の歩み、関係するすべての人々に主のみ守りと祝福がありますよう切にお祈り申し上げます。